

令和3年4月14日

経済産業大臣 梶山 弘志 様
資源エネルギー庁長官 保坂 伸 様
内閣府特命担当大臣（原子力防災）小泉 進次郎 様
原子力規制委員会委員長 更田 豊志 様
原子力規制庁長官 萩野 徹 様
新潟県知事 花角 英世 様
柏崎市長 櫻井 雅浩 様
刈羽村長 品田 宏夫 様
東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明 様

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会
会 長 桑 原 保 芳

柏崎刈羽原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書

日頃、当会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

当会は、柏崎刈羽原子力発電所の安全性・透明性を確保することを目的として平成15年5月に設立されました。現在は第9期委員により、発電所のトラブル、規制基準、原子力防災、核燃料サイクル、高レベル放射性廃棄物の最終処分などをテーマに、様々な議論を重ねてきました。

つきましては、第9期委員の2年間の活動を総括し、別紙のとおり要望書を提出いたします。

なお、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、5月末までに回答をいただきますようお願い申し上げます。

1 国に対して

(1) 原子力政策の広報等について（経済産業省、資源エネルギー庁）

原子力政策について国は、様々な形で広報・周知・意見聴取などをされております。しかしながら、原子力発電所立地地域住民には断片的な情報しか入らず、意見が必ずしも政策に反映されているとは思いません。

ついては、

- ① 政策の体系的な広報・周知をお願いします。
- ② 重要な政策・局面については、国が前面に立ち丁寧な説明をお願いします。
- ③ 立地地域住民の様々な意見をくみ取り、エネルギー基本計画をはじめとした政策に反映するようお願いいたします。

(2) 高レベル放射性廃棄物の最終処分について（経済産業省、資源エネルギー庁）

国は「高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取り組みの抜本強化」を謳っておりますが、具体的な取り組みが依然不透明であります。

ついては、

- ① 今後の最終処分に向けた現実的な取り組み等の見通しを、明確に示していただきますようお願いいたします。

(3) 原子力発電事業者の更なる規制強化について（原子力規制委員会、原子力規制庁）

昨年10月、柏崎刈羽原子力発電所7号機は原子力規制委員会による安全審査が全て終了しました。

しかし、東京電力ホールディングス株式会社社員によるIDカード不正使用並びに柏崎刈羽原子力発電所における核物質防護設備の機能の一部喪失という核物質防護規定に反するような事象が発生しました。

ついては、

- ① 今回の事象に関する一連の対応と安全審査との関係について、立地地域住民に対し丁寧な説明をお願いします。
- ② 二度とこのような事象が起きないように、原子力発電事業者に対し、更なる規制強化及びそれに伴う原子力規制庁の組織強化をお願いします。

(4) 実効性のある広域避難計画策定への支援について（内閣府）

原子力発電所立地自治体は、国の指導のもと広域避難計画を策定しました。しかしながら、今冬の大雪により新たな問題が発生するなど、計画には依然課題が山積しています。また、これらの課題解決には、計画を策定した自治体だけでは困難と考えられます。

ついては、

- ① 課題解決に向け、国の全面的な支援と強いリーダーシップをお願いします。

2 新潟県・柏崎市・刈羽村に対して

(1) 実効性のある避難計画の策定について（新潟県、柏崎市、刈羽村）

広域避難計画については、新潟県主催による総合訓練が2年連続で実施され、様々な課題が浮き彫りになってきました。また、今冬の大雪により避難道路の確保が大きな課題となりました。

については、

- ① 今までの課題や住民の意見を踏まえ、新潟県、柏崎市、刈羽村3者の強力な連携のもと、実効性のある広域避難計画にするようお願いします。

(2) 安全確保に関する協定書の見直しについて（新潟県、柏崎市、刈羽村）

柏崎刈羽原子力発電所におけるIDカード不正使用の事象においては、当初、核セキュリティ関連ということで、情報が立地地域住民には知らされず報道で知ることとなりました。

については、

- ① 東京電力ホールディングス株式会社と締結している安全確保に関する協定書において、今回の事象である核セキュリティ関連についても法令の範囲で情報公開できるように見直しをお願いします。

(3) 原発事故に関する3つの検証について（新潟県）

新潟県原子力発電所事故に関する3つの検証については、順次取りまとめがなされてきています。今後、検証総括委員会において、3つの検証結果のとりまとめが行われると聞いています。

については、

- ① 検証総括委員会での十分な議論をお願いするとともに、3つの検証結果のとりまとめ結果を立地地域住民に対し丁寧な説明をお願いします。

3 東京電力ホールディングス株式会社に対して

柏崎刈羽原子力発電所におけるIDカード不正使用、核物質防護設備の機能の一部喪失及び安全対策工事の未完了案件などの事象については、御社の「適格性」を疑いかねない誠に残念な事象であると考えています。また、この事象は柏崎刈羽原子力発電所の安全性・透明性を確保することを目的に活動してきた当会にとっても大きな失望であり、18年間の議論のなかで少しずつ積み上げてきた信頼関係が崩れかねないものでもあります。

については、次のとおり強く要望します。

- ① 上記事象の再発防止対策に加え、会社全体の意識・体質の抜本的な見直しと継続的な実行をお願いします。
- ② 原因調査結果及び再発防止対策等について、立地地域住民に丁寧な説明をお願いします。
- ③ 新潟県、柏崎市、刈羽村と締結している安全確保に関する協定書において、今回の事象である核セキュリティ関連についても法令の範囲で情報公開できるように見直しをお願いします。